

## リレーコラム

## 家庭でも『まことの保育』を

本願寺派保育連盟理事長 教区会議員  
東京教区保育連盟会長

南組 善永寺 たかなわ 高輪 まさずみ 真澄



昨年、宗派の保育連盟理事長に就任いたしました。保育連盟と言っても余り知られていません。簡単に言いますと浄土真宗本願寺派の教えを保育目標として教育・保育されている幼稚園、保育園そして認定こども園の団体です。東京教区には36園、全国には972園(2019年2月現在)が所属しています。ではどんな保育をしているのでしょうか。以下にご紹介いたします。

保育理念：親鸞聖人の生き方に学び、生かされているいのちに目覚め、ともに育ち合う。

- 保育目標：1. 阿弥陀さまをおがむ子どもを育てる  
2. ありがとうと言える子どもを育てる  
3. お話をよく聞く子どもを育てる  
4. なかよくする子どもを育てる

この保育目標は、実は「浄土真宗の生活信条」を簡単にしたものです。ですから各園は日々の保育のなかで、この保育目標をめざして子どもたちと過ごしています。この保育を私たちは『まことの保育』と呼んでいます。

972園という数は、日本最大の宗派保育連盟だということを示しています。しかし、地域的に少ない地域もあります。たとえば東北教区では全体で3園のみ、教区内でも千葉県内は1園、埼玉県内は2園、群馬県内は1園、静岡県内4園と数少ないのが現状です。

そこで、これからは『まことの保育』をもっと多くの施設に弘めていくことももちろんですが、新しい施設を作ることは大変なことです。近くに『まことの保育』の園がない方々に、浄土真宗のみ教えを幼児の頃から身につけていただくためには、それぞれのご家庭で『まことの保育』を実践していただくことが必要と考えています。家庭での宗教教育の悩み、実際にどうしたら良いのかなど、その解決策は『まことの保育』が持っています。

保育の理念の中に「ともに育ち合う」という言葉があります。子どもと保護者そして周りの人たちが、それぞれ関わり合いながら育ち合う世界こそ、『まことの保育』の目指す社会です。

『まことの保育』については、保育連盟ホームページをご参照ください。またわかりやすい解説本として『知っておきたい まことの保育～であいのよろこび～』保育連盟発行一冊100円があります。詳しくは保育連盟または教務所にお問い合わせください。